



公開講座レター

No.7



平成 25 年度の公開講座が5月から始まりました！今年度も公開講座の取り組みを広く知っていただくため、実施した公開講座の様子や、参加者の声をお届けする「公開講座レター」を発行します。
 今回は、5月から6月にかけて実施された公開講座「国際交流と市民活動～人と人とのつながり～」と「大正文化と創作童話」の様子をお届けします。

講座名

「国際交流と市民活動～人と人とのつながり～」

開催日

5月18日、25日、6月1日（土） 13:30～15:00

講師

福島大学非常勤講師 林 由美子
 シェアラブチャリティの会代表 菅野 良二
 フリージャーナリスト 藍原 寛子
 人間発達文化学類 教授 鈴木 裕美子（コーディネーター）

講座の概要

東日本大震災後の海外からの支援活動について、様々な国の取組みを解説いただきました。その中には福島大学学生が関わった事例もあり、身近なところで起きている取組みに受講生の皆さんも興味深く聞き入っているようでした。講師の先生方の行動力には圧倒されながらも、講座は各回共に和やかな雰囲気で行われました。

各回の内容

- 5/18 海外在住日本人の国際結婚家庭とその子どもたちを支援するプロジェクトの活動内容や東日本大震災後の海外からの支援活動の紹介（林先生）
- 5/25 アジアの途上国への支援活動、フィリピンでの活動（学校建設等）と福島大学学生との関わりについて（菅野先生）
- 6/1 震災後のインターネットによる情報収集と発信について、その効果と問題点の解説、フィリピンの未使用原発について（藍原先生）

参加者の声

- ・先生方の熱い熱い思いが強く伝わりました。“愛を分かち合う”自分は誰に何をしてあげられるのか？と考えるとなかなか難しいですね。
- ・世界を見ることが出来た。世界のことはTV、新聞位しか情報が入ってこなかったので話を聞いて良かった。
- ・身近で具体的な内容で理解し易く、興味深く受講できた。
- ・どの講師先生のお話も大変参考になりました。感謝いたします。とても良かったです。
- ・福島県人である講師はじめ、会員の方々がこんなに幅広く大きなボランティア活動、国際交流していることは立派です。今後のご活躍と、またパート2の公開講座を楽しみにしております。

講座の様子



講座名

大正文化と創作童話

開催日

5月25日、6月8日、22日(土) 14:00~15:30

講師

山形大学 名誉教授 早川 正信

講座の概要

大正文化の時代背景やつくられた作品について解説いただきました。最終回では3作品にスポットを当て、同じテーマ(「馬」)についてそれぞれがどのような描写をしているかを比較しました。3作品を読んでくれることは第2回目の講座の“課題”として出されましたが、受講生の皆さんはしっかりと読み込んで学習をされていたようでした。「もっと勉強したかった」という感想が多く挙がった講座でした。

各回の内容

5/25 「大正文化の水源」

文化と文明の位相と関連について、『文明開化』のイメージをシフトする、『言葉』の力(教育、政治、戦争、笑い、憎しみ)

6/8 「『おとぎ話』から『児童文学』へ」

大正期の学校制度と教育について(明治期の劇場型から活字教育へと変化)、月刊誌の隆盛、赤門派(帝大系)と稲門派(早大系)の作家、作品について

6/22 「広介、未明、譲治」

浜田広介の『こがねのいなたば』、小川未明の『白い馬』、坪田穰治の『お馬』、三者の「馬」をめぐる描写を比較し、特徴や違いなどについて解説

講座の様子



参加者の声

- 文学関係の講座は初めてですので新鮮でした。
- 大正時代は15年と短く、明治と昭和の間にあって時代的にも小説(文学)的にもわからなかったので大変参考になりました。
- 今回は3回シリーズだったが、5回か6回の講座でもよかった。もっとお話を聞いてみたいと思った。
- 今回は回数が少ない分、宿題のようなものが出て非常に楽しかった。
- 講座の回数が少し足りなかった

と感じた。時代背景がわかったのは良かった。

• 創作童話が大正時代に出来たというのは分かりませんでした。御伽草子のようにかなり古い時代からあるものとはばかり思っていました。大変分かり易く良かったと思います。

作成：地域連携課
2013年6月